

病害虫防除技術情報第14号

平成 22 年 10 月 15 日
三重県病害虫防除所

ハスモンヨトウの多発が続いています

1 対象作物：野菜類、花き類

2 害虫名：ハスモンヨトウ

3 発生状況

- 1) ハスモンヨトウの9月11日～10月10日の県予察圃（松阪市嬉野川北町）でのフェロモントラップ誘殺数（2,763頭）は、平年（1,775頭）に比べて多い状況にあります（図）。
- 2) 10月上旬における現地圃場での発生は、平年に比べ多くなっています（表）。

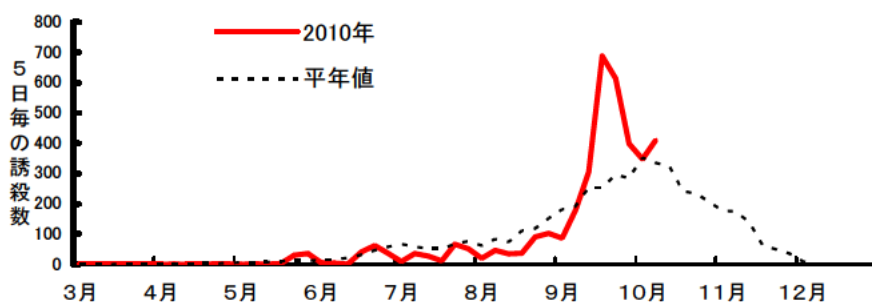


図. フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長(松阪市嬉野川北町)

表. 圃場における発生状況(10月上旬調査)

作目	寄生株率(%)		平年比	調査圃場数
	本年	平年		
イチゴ	3.5	2.4	やや多	11 か所
冬キャベツ	17.2	3.7	多	12 か所
ハクサイ	4.0	0.4	多	10 か所

平年値は過去 10 年間(平成 12～21 年)の平均。

4 防除上の注意事項

- 1) 本年はハスモンヨトウだけでなく、オオタバコガ、シロイチモジヨトウなど他のガ類の発生も多いので、注意してください。
- 2) 老齢になるに従って薬剤の効果が劣るので、発生に注意し、若齢幼虫のうちに防除してください。
- 3) 新芽部を食害されると、生育や収量への影響が大きくなります。
- 4) 施設では、ハウスパイプや換気口周辺などの資材にも産卵するので、注意してください。
- 5) 農薬は、ラベルの表示を確認して正しく使用してください。